



ことばをめぐる随想

私は毎日お弁当を持ってきているのだが、それは朝食用で、学校につくとまずお弁当を食べる。早起きしているから、起きた直後にはあまり食欲がなく、ちょうど通勤で身体を動かすとお腹が空いてくるのである。

で、お昼ご飯用に、来る途中のコンビニでお弁当などを買ってくるのだが、最近、早朝のコンビニの店員さんは外国の方が多い。で、たまに面白い経験をしたりする。

今朝はレンジで温めるチャーハンを買った。と、レジの店員さんはお箸をつけてくれようとしている。チャーハンは、見た目お米でできているから、お箸で食べるものと判断したのだろうか。しかし、チャーハンをお箸で食べるのはかなり疲れそうである（笑）。そこで、思わず「お匙にして下さい」といったら「???'」な表情。つまり、「お匙」という言葉を知らないらしいのである。なるほど、これはこっちが悪いなと思って「スプーンに…」と言い換えたら、今度はフォークに手を伸ばしている。思わず「こっちね」と指で指してしまった。やはり、コミュニケーションにおいては、ボディランゲージが重要である、というか、言葉が通じなくても、ボディランゲージで何とかできるというのは真実である…（笑）。

あと、マツキヨの店員さんに、「ハッスイザイを下さい」と言って通じなかったことがある。「撥水剤」である。その時は、固有名詞の「レインガード」と言い直したが。

*

私の言葉遣いはけっこう変なものがあるらしく、「お匙」はその代表格で、家族が集ま

る場面でも、「jee、スプーンでしょ」と、最近こまっしゃくれてきた孫にたしなめられたりしている。

あと、よく笑われるのが「とっくり」。いわゆるタートルネックのことであるが、どうも昔から「とっくりのシャツ」とか言い慣れていて、それが今でも出てしまうのである。

「襟巻き」も指摘されることが多い。今だと「マフラー」の方がメジャーなのだろう。ちなみに、「襟巻き」でなくて「首巻き」だろうと突っ込みを入れたくなるのだが、「襟」には「衣服の首の周りに当たる部分」という意味と同時に、「うなじ（＝首の後ろの部分）」という意味もあるから、そこから来ているのだろうか。微妙なナゾである。

一方、「手袋」の方は普通に使って違和感がない。むしろグローブなどという野球用品の方がイメージされるのだろうか。

趣味の場面でも、私はどちらかというところ「カメラ」と言うよりも、「写真機」と言うことが多いようで、たまに「カメラでしょ」などと指摘されることがある。

笑われたのは「徒手体操」。そもそもこの言葉を知ってる？ いわゆる「器械体操」の対になる語で、器具を用いないで行う体操のことである（例えば、床運動など）。私はこれを「都市体操」だとばかり思い込んでいたので、大学に入って地方から出てきた友だちに、「え～、君たちもトシ体操（トシュ体操）やっていたの？」と発言して、大笑いされたのである（当時の友だちは、今でもそのことを話題にする…泣・笑）。やれやれ。